

# 原水爆禁止 2021 年世界大会への支持、賛同、募金のお願い

2021 年 5 月 13 日

原水爆禁止世界大会実行委員会

核兵器のない世界を求める全国のみなさん、

広島・長崎の被爆 76 年目の今年、私たちは 8 月 2 日から 9 日まで「被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界を— 人類と地球の未来のために」をテーマに、原水爆禁止 2021 年世界大会を、オンラインを中心として開催します。

ことし 1 月 22 日、核兵器禁止条約が発効し、いま、国際政治の舞台でも各国の草の根の運動でも核兵器のない世界を実現するための新たな動きが始まっています。これまでの会議で核軍備の撤廃に関する措置が合意され、核保有国による実行が厳しく問われている次回核不拡散条約（NPT）再検討会議は、8 月の予定が再延期されても 1 月ないしは 4 月には開催する動きが強まっています。また、国連事務総長は、すべての国連加盟・オブザーバー国の大使に対し、来年 1 月 12 日からオーストリアの首都ウィーンで核兵器禁止条約の第一回締約国会議を開催することを通知しています。

一方で、核大国は互いに自国の「安全」や利益を口実に覇権を争い、対立と緊張を高めながら、核兵器禁止には揃って反対し、核弾頭やミサイルなど核軍備の増強と近代化を続けています。しかしこのような横暴は、もはや許される時代ではありません。昨年 12 月には、核兵器禁止条約への署名・批准促進を求める国連決議が、全加盟国の 7 割に近い 130 か国の賛成で採択されました。また、この間核保有国や核大国の軍事同盟に加わる国で行われた世論調査のほぼすべてで、核兵器禁止条約への自国の参加を求める声が 70%にも 80%にも上っています。

人類全体がいま、新型コロナウイルスのパンデミック、気候危機、貧困と格差、人権、ジェンダー平等など協力して取り組むべき多くの緊急問題に直面しているもとの、2021 年世界大会は、核保有国に対して「核兵器のない世界」の実現、「自国の核兵器の完全廃絶」をはじめ、これまでに受け入れたすべての合意の実行を求め、すべての国に対して「核兵器禁止条約」への支持と参加をよびかけるでしょう。また、私たちは大会準備の過程でも世界各国の平和運動によびかけ、核兵器廃絶の世論を高めるとともに、8 月 2 日から 9 日までの一週間、核兵器廃絶を共通の目標とし、それぞれの国で核兵器禁止条約への支持と参加をよびかけるグローバルな草の根の共同行動「2021 年平和の波」を提唱します。

2021 年世界大会は、広島・長崎の被爆を原点とする日本の運動にとってもとりわけ重要な大会となります。いま日本に求められているのは、アメリカの言いなりに大量の戦闘機や「敵基地攻撃」の能力を持つミサイルを買い込んだり、民意を踏みにじて米軍のための基地建設を強行することではありません。国民の安全にとってもアジアと世界の平和にとっても必要なことは、世界でただ一つ、核の惨禍を体験した国として、核兵器禁止条約に参加し、核大国に対しても世界の人々に対しても核兵器廃絶と平和のメッセージを発し続けることです。

私たちは、2021 年世界大会が、核兵器のない平和で公正な世界、非核平和の日本にむかって、国連、核兵器廃絶をめざす政府や公的機関、各国の反核平和運動や環境、人権、ジェンダー平等など様々な分野の活動をオンラインでつなぎ、また、広範な分野で活動する日本の各界からもスピーカーを招き、大きく共同と連帯を広げます。

全国のみなさんが、大会を支持され、大会と各地の「平和の波」行動に参加され、また連帯のメッセージをお寄せくださるようお願いするものです。

また、例年お願いしている大会開催のための賛同募金については、本年度に関しては、通年で大会準備と事務局の機能を支えている日本原水協が、コロナ感染防止のために直面している困難に鑑み、全面的に、日本原水協の募金に協力することにしています。同封の募金の要請にも併せてご協力いただけますよう、お願いする次第です。